

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-01	講座名	渥美の海で珍しい生き物を探そう！
記載日	2022/8/31	団体名・企業名	環境ボランティアサークル亀の子隊

〈講座全体の概要〉(300字程度)

渥美半島の三河湾側に残る貴重な宇津江海岸の磯で生き物探しをします。活動時間は約2時間。100m近くある広い磯に広がり、自由に生き物探しをします。活動場所となる磯は、後背地に山があり、山から流れ出る真水と海水が混ざる汽水域となっています。その結果、何種類もの磯の生き物が生息しています。

タイドプールの中の海藻の下に隠れている小魚を見つけたり、波が引いたときに出てくる動石の下のカニやミミズハゼなどを見つけたりすることができます。ナマコやアメフラシ、ウミウシなどもあります。岩には、数種類のイソギンチャクや大きなフジツボガイ、カサガイ、イシダタミ、また、オレンジのカイメンも見ることができます。



※写真1の説明

※写真2の説明

5月28日第1回目の活動 波打ち際で生き物を探す親子

8月11日第2回目の活動 海に入って生き物探しをする親子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

名古屋市やその近郊から2～3時間かけてきてくれる人たちが、「楽しかった」と言ってくれるプログラムである。単純な生き物探したが、水族館や動物園のように展示されている生き物を見るのではなく、五感を使って生き物を見つける楽しさは大人も夢中になる。なかなか、見つからなかったり、見つかったも捕らえられなかったりすることも楽しさのひとつ。まずは、イソギンチャクに触ってその感触やぐっと押したときに噴き出す水に驚く。低学年の子どもたちは小さなカニを指でつまめるようになることも挑戦。

渥美半島のきれいな海だからこそ生息する生き物たちである。毎回、見つかる生き物は違いがあり、何度来ても楽しめる。活動の終わりには、専門知識のあるメンバーが生き物について解説する。生き物の驚くような実態を聞くこともできる。リピーターも増えている。これからも渥美半島の自然を楽しむに来てほしいと思う

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・大変満足しました。貴重な体験ができ有意義な時間でした。・たくさんの生き物が見られた。
- ・たくさんの生き物と触れ合うことができ、子どもが活き活きして楽しそうだった。生き物の解説もあり、理解が深まりました。ゴミ拾いもよかったです。
- ・採取時間、採取後の解説ともに適切、大満足だった。
- ・いつも生き物の発見が楽しませてもらっています。
- ・最後の説明がよかった。
- ・普段経験できない貴重な体験をすることができた。専門家の人が一つ一つ説明してくれたので、とても分かりやすかった。